

どの子どもも輝く
笑顔いっぱい
とねがわ幼稚園

とね幼だより

よい頭・よい躰・強い体



平成30年11月

正直は一生の宝物 正直者に神宿る／正直は最善の策… 園長 笛木 哲

1ヶ月ほど前のこと。年中園児がおどおどした表情で、手に30cmほどの枝をもってやってきました。そして、蚊の鳴くような声で、「僕が…折ってしまいました。」と枝を差し出しました。ここに来るまでに、ずいぶん反省してきたことがその姿から分かります。小さな体で勇気を振り絞り、正直に謝ってくれました。

彼は、悪戯が過ぎ、やってはいけないことをしてしまいました。でも、すぐにまずいことをしたと気づきます。その時、その場に、誰にも分からないように枝を落としておく選択肢もあったはずですが（失敗をくり返し、その度に人格を否定されるような叱り方をされると、誰でも身を守るために嘘をつき、うまい対処法・誤魔化し方を学ぶものです）。でも彼は、叱られるかもしれない、もしかしたら悪い子だと思われるかもしれないという恐怖よりも、正直であることを選びました。私が「この枝は、家族のところに帰りがっているでしょう。でも、折られてしまうともう二度と元には戻りません。これからどうしますか？」と聞くと、彼は枝に向かって「ごめんなさい。」と謝り、「もうしません。」と誓いました。私は、それ以上何も言うことはありませんでした。

社会に出ると、「正直者が馬鹿を見る」「正直貧乏」「正直者が損をする」という場面があふれています。でも、とねがわ幼稚園の中では、正直に生きることが美しいのだと、声を強くして園児に伝えたいと思います。



家庭生活、園生活で見せる園児の違いを理解する

着替えずに遊ぶ、皆が席に着いているのに床の上に寝転ぶ等、集団からはみ出す子。手伝い、時には褒め、皆と同じにできるよう手や口をさしのべる担任。ある日、「今日はその子の意思に任せてみよう」とこれまでの指導を控えます。案の定、自由を満喫し、帰りの時間になってしまった子。業を煮やし「帰りの支度を自分でしないと、皆が困っちゃうよ。」と伝える担任。すると「皆がなんで困るの？」との屈託ない目で返答する子。担任は「困るのは皆ではなく、自分(教師)であった」と気づかされます。

ご家庭では、お子さんの特性や気分に合わせて生活できます。しかし、集団生活は、様々な環境で育った仲間に合わせて、折り合いを付けながら生活しなくてはなりません。担任の責任は、各家庭の教育方針の違いを尊重した上で、園児に集団生活の意義を理解させ、集団をまとめ、気持ちよく生活させることにあります。「家ではできるのに幼稚園でできないのは何故?」と思われる保護者の方もいらっしゃると思いますが、家庭と園では学びの環境も目的も違います。個人面談で担任がお話しする集団生活でのお子さんの育ちとご家庭でのお子さんの育ちの違いを通し、その子の理解を深めてまいりましょう。

園児が輝く(個性的に学ぶ) その時

		
<p>とねがわ幼稚園の誇り『鼓笛』 町民体育祭で鼓笛を披露しました。多くの方から盛大な拍手をいただきました。園児には大きな自信となりました。</p>	<p>様々な方からの優しさに『感謝』 夏を思わせる町体。園児の体調を心配し、日陰で休めるよう町ボーイスカウト団体がテントをお貸しくいただきました。</p>	<p>優しい手と手『つながる親』 講師に藤井晶子先生をお招きした親学では、親のもつ悩みを共有し、子育てを通して親になることを学びました。</p>
		
<p>へんてこな生き物を『発見』 「何ですか？」と園児が手に持つのは『スズメガ』の蛹。自然の少ない園庭でよくぞ見つけました。園児は偉大な発見者です。</p>	<p>ルールを守ってできたよ！『集団遊び』 4月、自分のことだけで精一杯だった年少児が『フルーツバスケット』を教えてもらい、ルールに従い、楽しめるようになりました。</p>	<p>必要なものは『自信』と『勇気』 運動会では、3段・4段の台上前転を披露しました。今、年長児は5段の跳び箱の上で前転ができるのです。</p>
<p>新しいお友だち紹介！ ちゅうりっぷ組(満3歳児)に矢部翔^{しょうた}くん、吉田明^{あき}希くん、椎橋^{つばさ}翼くん、原島^{かける}夏翔くんの4名が入園し、園児数226名となりました。</p>		
	<p>チャボが元気になったよ！『感謝』 園児の大好きなチャボは、夏に足を怪我し、体調を崩しました。阿佐見陽菜さんのおじいさんが元気にしてくれました。</p>	<p>園の誇り『労をいとわない教師』 12/1の生活発表会に向け、ストックしてある衣装から探します。そこにはない衣装は休日にも返上し、製作しています。</p>

連絡ノート (保護者の方から)

1学期の連絡ノートに「幼稚園であったことを聞くのですが、聞き取り方が悪いのか、息子が覚えられないのか、言っている意味が分からず困っています。○君と『にんげんごっこ』をしたと言うので、○君のママに聞くと『にんじゃごっこ』だったことが分かりました。」とありました。お母さんには笑い事ではないでしょうが、クスッとしました。さて、そんな年少児も2学期になり、ずいぶんおしゃべりが上手になりました。

11月の歌は「たきび」です。お子さんに教えてもらって、ご家族と一緒に歌ってみてください。